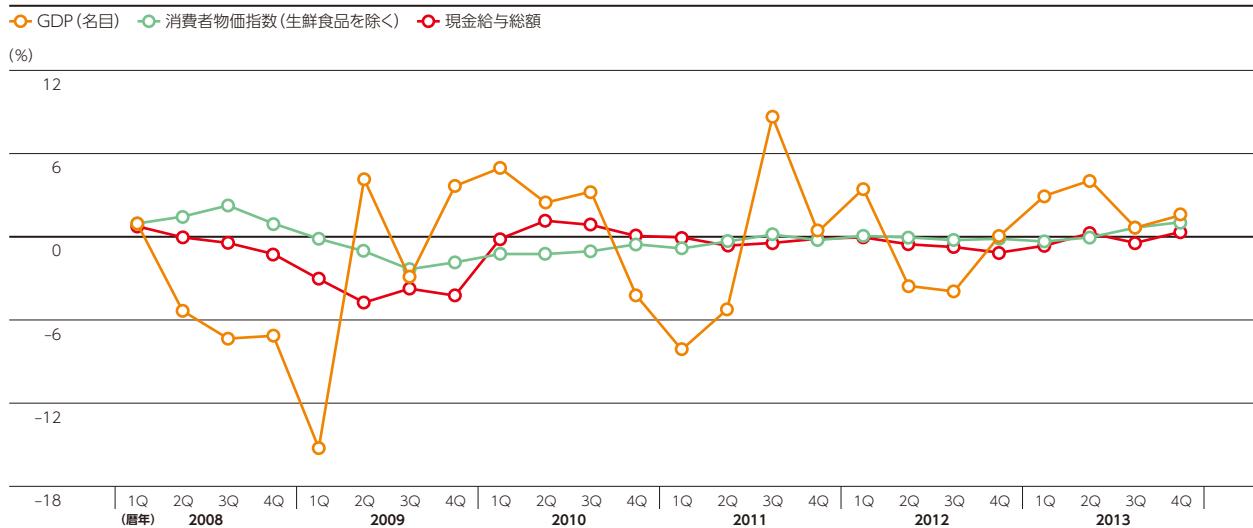


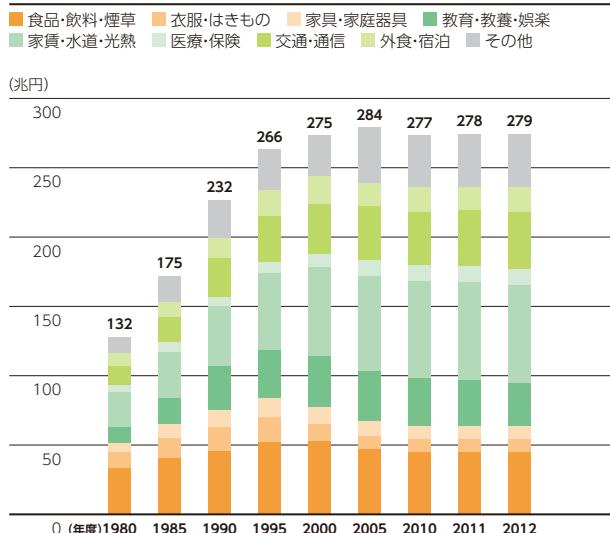
消費環境

景気指標の前年同期比の推移(四半期)



出典：内閣府「国民経済計算(SNA)」、総務省統計局「消費者物価指数」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」

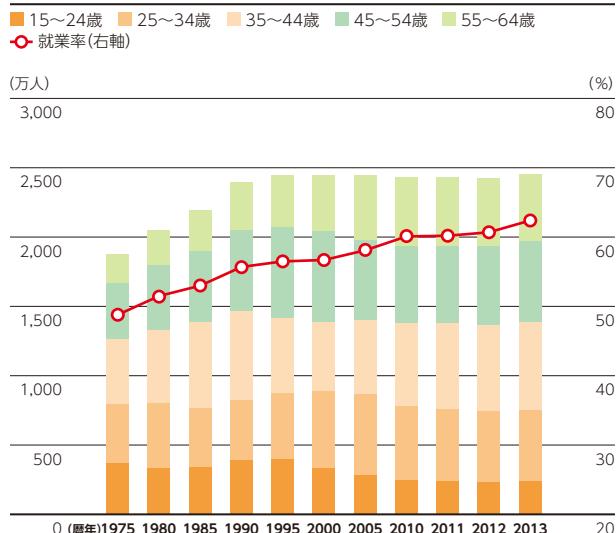
家計最終消費支出



出典：内閣府「国民経済計算(SNA)」

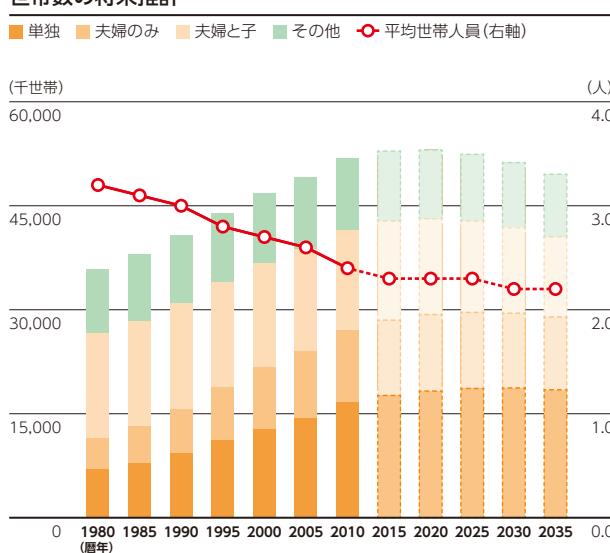
(注) 2000年以前は旧基準の数値

女性の就業者数及び就業率



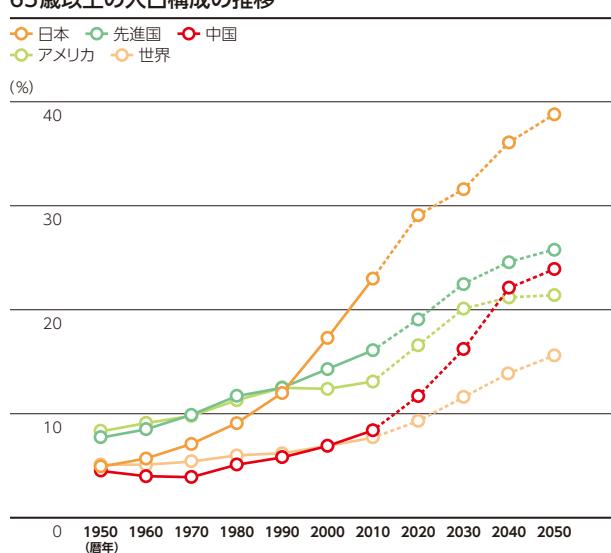
出典：総務省「労働力調査」

世帯数の将来推計



出所：国立社会保障・人口問題研究所

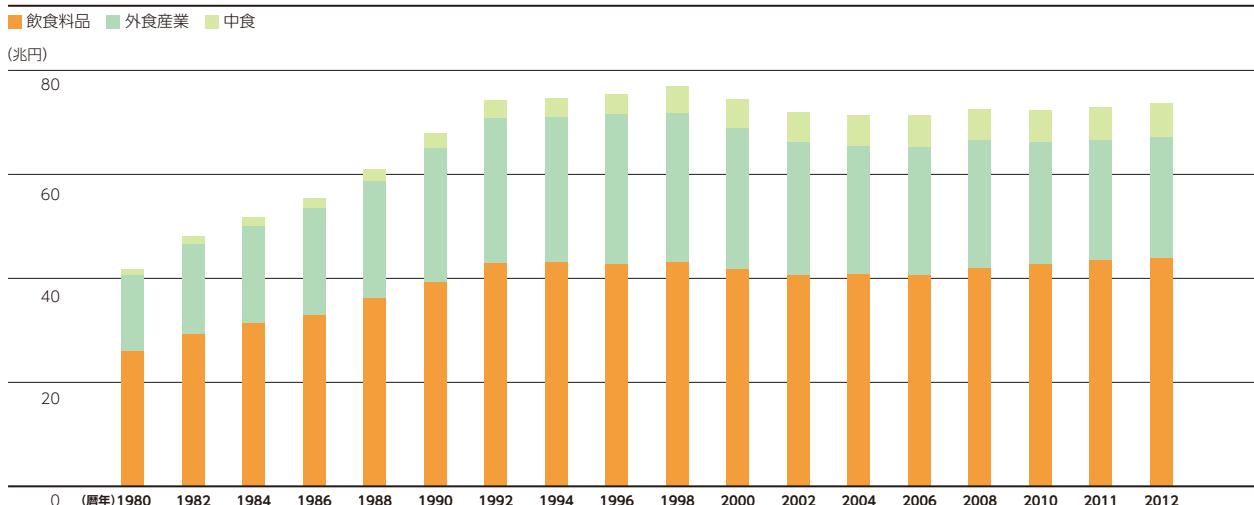
65歳以上の人口構成の推移



出典：総務省統計局「世界の統計」

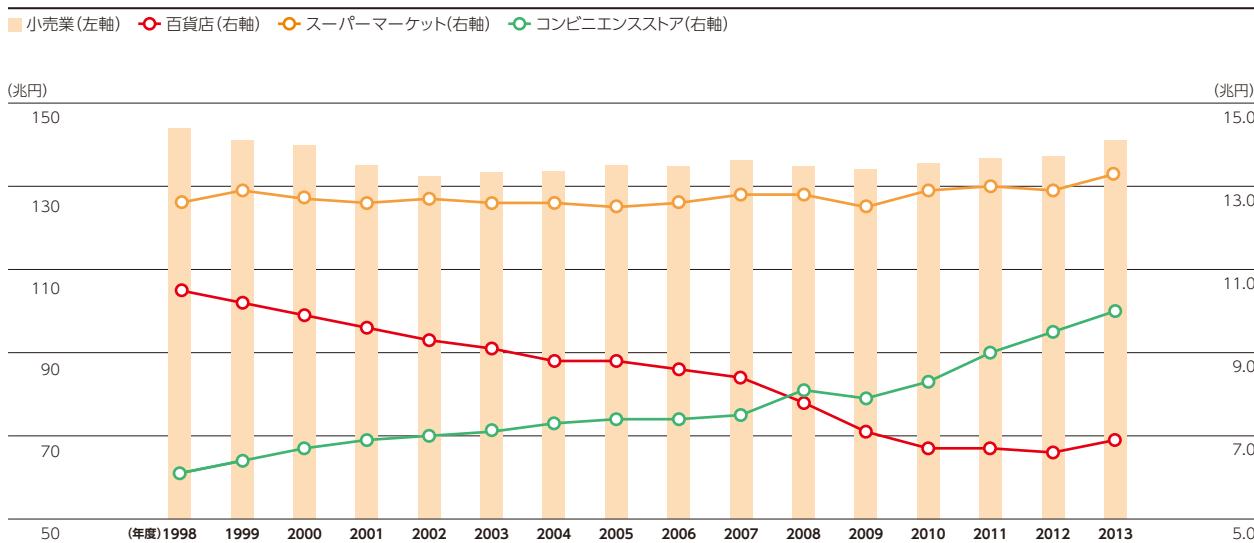
小売業の動向

食品市場規模の推移



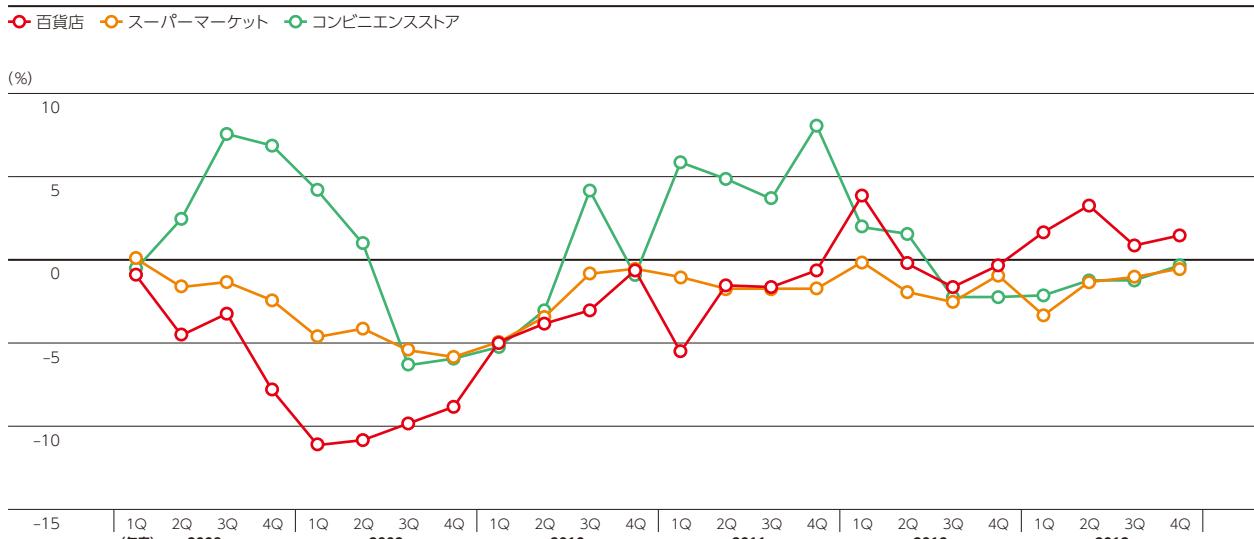
出典：経済産業省「商業動態統計調査」、外食産業総合調査研究センター

主要業態別の売上高の推移



出典：経済産業省「商業動態統計調査」

主要業態別の既存店売上伸び率の推移(四半期)



出典：経済産業省「商業動態統計調査」

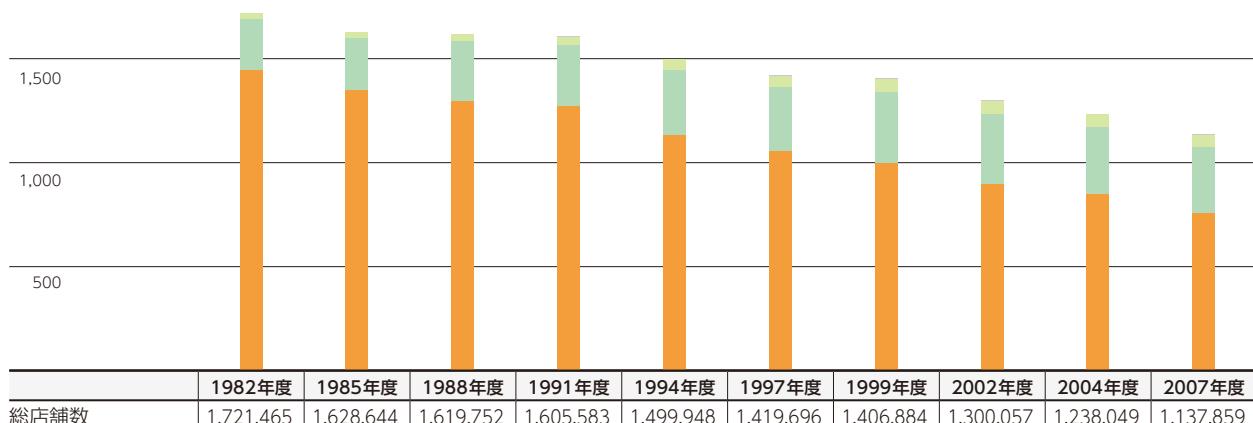
小売業の動向

従業員規模別店舗数の推移

■ 従業員1~4人 ■ 従業員5~19人 ■ 従業員20~99人 ■ 従業員100人以上

(千店)

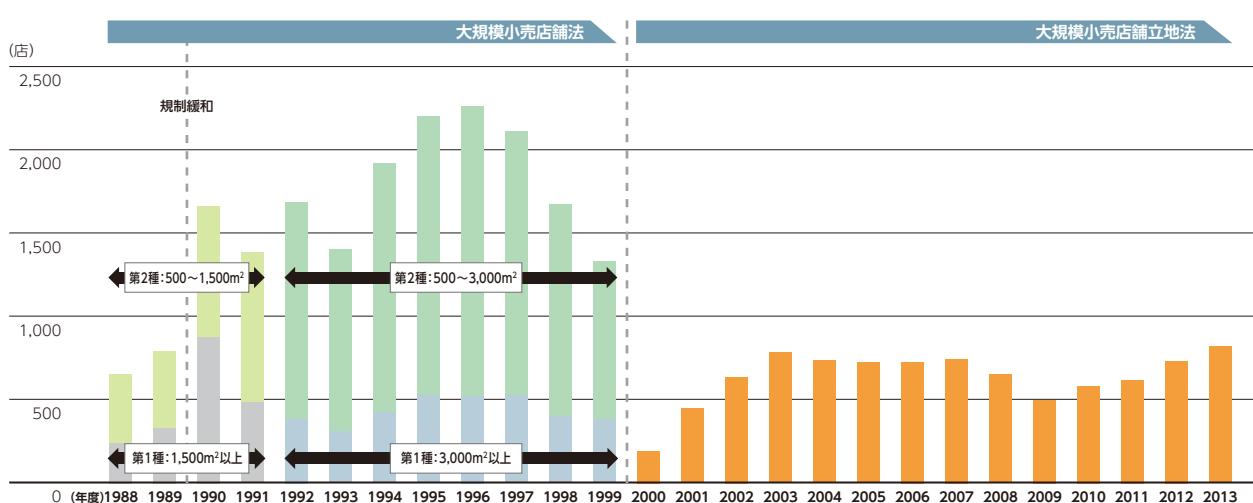
2,000



出典：経済産業省「商業統計」

大規模小売店舗届出件数の推移

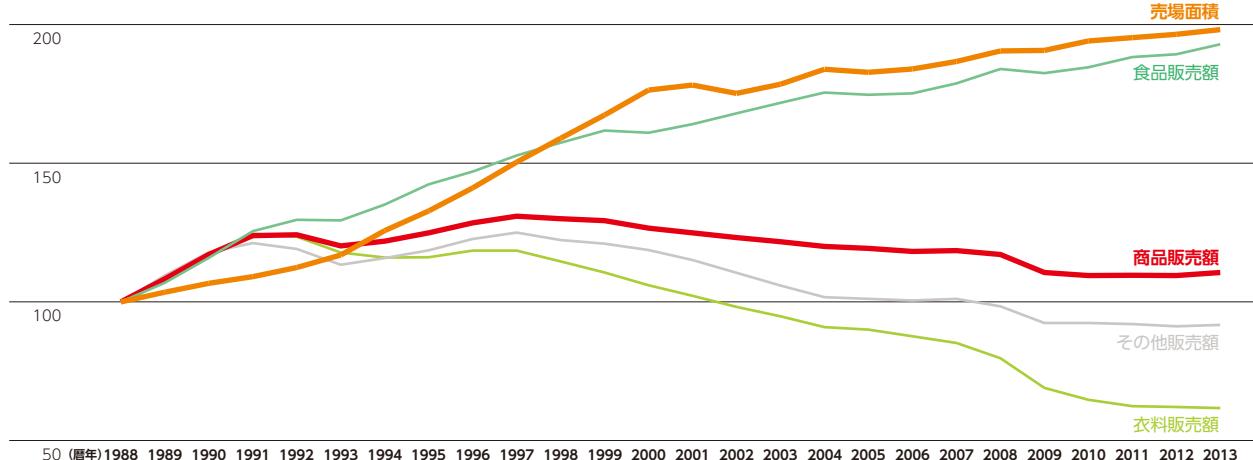
■ 大規模小売店舗立地法による届出数 ■ 第1種大規模小売店舗届出数 ■ 第2種大規模小売店舗届出数



出所：経済産業省

大規模小売店の商品販売額及び売場面積の推移(1988年実績を100として指数化)

— 売場面積 — 食品販売額 — 商品販売額 — その他販売額 — 衣料販売額



出典：経済産業省「商業動態統計調査」

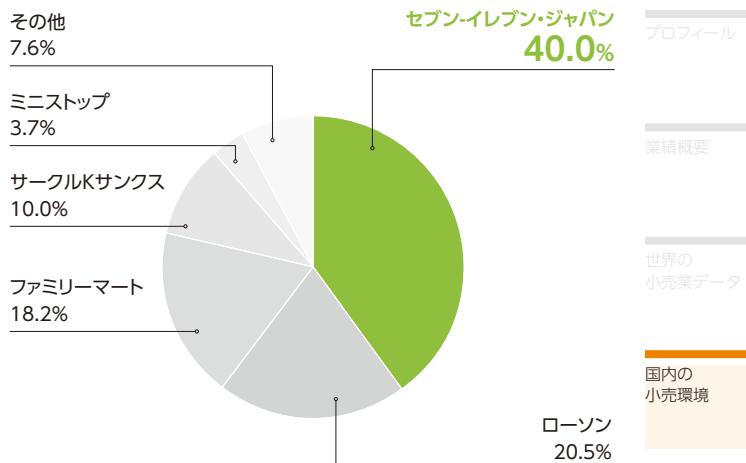
グループ主要事業会社のマーケットシェア(単体)

コンビニエンスストアにおけるチェーン全店売上トップ5

		2013年度 (億円)	構成比 (%)
コンビニエンスストア合計 ^{*1}		94,628	100.0
1 セブン-イレブン・ジャパン	37,812	40.0	
2 ローソン ^{*2}	19,433	20.5	
3 ファミリーマート	17,219	18.2	
4 サークルKサンクス ^{*2}	9,506	10.0	
5 ミニストップ	3,499	3.7	
その他	7,158	7.6	
上位5社合計	87,470	92.4	

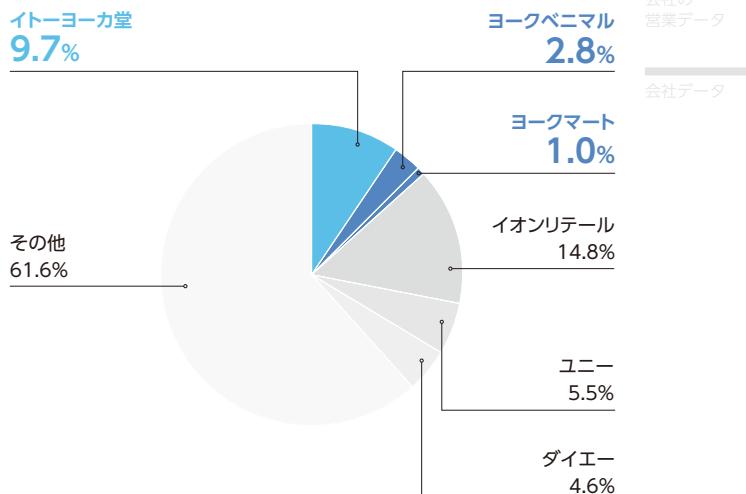
*1 コンビニエンスストア合計のチェーン全店売上は「コンビニエンスストア統計調査月報」における2013年3月から2014年2月までの全店ベース店舗売上高の単純合算値

*2 ローソン及びサークルKサンクスのチェーン全店売上は、各社の単体売上と国内連結子会社コンビニエンスストア事業の単純合算値



スーパー店における売上高トップ4

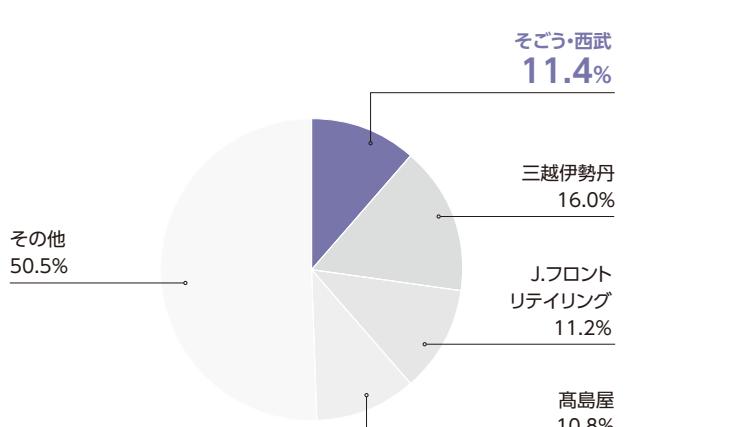
		2013年度 (億円)	構成比 (%)
スーパー店合計		132,506	100.0
1 イオングループ	19,612	14.8	
2 イトーヨーカ堂	12,806	9.7	
3 ユニー	7,324	5.5	
4 ダイエー	6,152	4.6	
その他	86,610	65.4	
上位4社合計	45,895	34.6	
ヨークベニマル	3,747	2.8	
ヨークマート	1,282	1.0	



百貨店における売上高トップ4

		2013年度 (億円)	構成比 (%)
百貨店合計		68,927	100.0
1 三越伊勢丹	11,040	16.0	
2 そごう・西武	7,892	11.4	
3 J.フロントリテイリング	7,689	11.2	
4 高島屋	7,478	10.8	
その他	34,826	50.5	
上位4社合計	34,100	49.5	

(注) 三越伊勢丹、J.フロントリテイリング及び高島屋の売上高は各社の国内百貨店業子会社の単純合算値



出典：経済産業省「商業動態統計調査」、日本フランチャイズチェーン協会「コンビニエンスストア統計調査月報」、各社発表資料